

柳川市監査委員告示第10号

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を公表します。

令和8年6月30日

柳川市監査委員 中村 秀樹
柳川市監査委員 浦川 和久

令和 8 年度財政援助団体等監査報告

第 1 監査の対象団体及び所管部署

団 体 名 柳川市民文化会館自主事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）

所管部署 柳川市教育部生涯学習課（以下「市生涯学習課」という。）

第 2 監査の期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 8 年 6 月 1 日まで

第 3 監査の目的及び方法

地方自治法第 199 条第 7 項の規定並びに柳川市監査規程及び令和 8 年度年間監査計画に基づき、市が財政的援助等を行っている団体の出納その他の事務の執行が適切かつ効率的に行われているか、当該財政的援助等の目的に沿って行われているか、また所管部署の当該団体に対する指導監督が適切に行われているか等を主眼とし、対象団体及び所管部署から関係書類等の提出を求めるとともに、必要に応じ関係職員からの説明を聴取する方法により実施した。

第 4 監査を実施した監査委員名

中 村 秀 樹（識見監査委員）

浦 川 和 久（議選監査委員）

第 5 監査対象団体の概要

1 補助金等の名称

柳川市民文化会館自主事業補助金（以下「自主事業補助金」という。）

2 交付金額

令和 2 年度 15,000,000 円

令和 3 年度 30,000,000 円

令和 4 年度 10,000,000 円

令和 5 年度 10,000,000 円

令和 6 年度 10,000,000 円

※上記交付金額のうち、令和 2 年度から令和 5 年度までの自主事業補助金精算金（返

還金）20,641,641 円を令和 7 年 6 月 4 日に市へ返還している。

3 団体の目的

実行委員会は柳川市民文化会館運営計画の推進を図るために設置（令和 2 年 7 月 30 日設置）し、柳川市民文化会館（以下「文化会館」という。）の自主事業を着実に実施することを目的とする。（実行委員会規約（以下「規約」という。）第 2 条）

4 構成及び役員

(1) 構成(規約第4条)

実行委員会は、市内の文化団体や顕彰団体、学識者、有識者及び行政機関をもって構成されている。

各年度の組織構成は下記のとおりであるが、令和6年度の副会長については、規約第6条第3項で「副会長は、会長が指名する。」と規定されているものの、指名がなされていないため不在となっている。

また、委員の任期は会計決算の終了までとし、再任を妨げないとしている。(規約第5条)

年度	会長	副会長	監事	委員	合計
令和2年度	1名	1名	1名	2名	5名
令和3年度	1名	1名	1名	3名	6名
令和4年度	1名	1名	1名	3名	6名
令和5年度	1名	1名	1名	3名	6名
令和6年度	1名	不在	1名	3名	5名

(2) 役員(規約第6条)

実行委員会に次の役員を置くとされており、会長は柳川市教育長、副会長はアジアフォーカス福岡国際映画祭実行委員会フェスティバルディレクターや公益財団法人筑後市文化振興公社理事、監事はカルチャラル柳川ふれあい文化事業実行委員会委員長が就任している。

ア	会長	1名	柳川市教育長
イ	副会長	1名	会長が指名
ウ	監事	1名	会長が指名

(3) 事務局(規約第10条)

実行委員会の事務局は、市生涯学習課に置くとされている。

5 事業の概要

事業については、規約第3条に次のとおり規定されている。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 柳川市民文化会館自主事業の開催に関すること。
- (2) 文化芸術を通じて青少年の健全育成の推進に関すること。
- (3) その他文化芸術全般に関すること。

各年度の「財政状況」と「事業実績」は下記のとおりである。

なお、実行委員会の事業報告書又は決算書に主催事業、共催事業、チケット販売枚数及び主催事業収支金額の記載がある場合は、その内容を記載している。

(1) 令和 2 年度

【財政状況】

令和 2 年度の決算は下表のとおりである。

《収入の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 補助金	15,000,000	15,000,000	0
2. チケット収入	3,156,236	6,400,000	△3,243,764
3. 講座受講料	131,000	200,000	△69,000
4. 雑収入	83,693	1,000	82,693
合計	18,370,929	21,601,000	△3,230,071

《支出の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 報償費	355,100	355,100	0
2. 旅費	90,640	200,000	109,360
3. 消耗品費	101,464	1,200,000	1,098,536
4. 印刷製本費	585,750	1,600,000	1,014,250
5. 食糧費	6,424	300,000	293,576
6. 役務費	22,384	1,500,000	1,477,616
7. 委託料	4,370,726	14,945,900	10,575,174
8. 使用料	215,710	500,000	284,290
9. 予備費	50,000	1,000,000	950,000
合計	5,798,198	21,601,000	15,802,802

《収支対照表》

(単位：円)

収入合計	支出合計	差引金額	備考
18,370,929	5,798,198	12,572,731	令和 3 年度へ繰越

令和 2 年度の収入の主なものは自主事業補助金とチケット収入であり、支出の主なものは公演料等の委託料である。収入決算額合計は 18,370,929 円で支出決算額合計は 5,798,198 円のため、収支差引額は 12,572,731 円となり、令和 3 年度へ繰越されている。

【事業実績】

ア 鑑賞事業

- ・主催 小山実稚恵ピアノコンサート（収支 210,516 円・チケット 361 枚）
- ・主催 川井郁子バイオリンコンサート（収支△861,274 円・チケット 321 枚）
- ・主催 こっぱり～の音楽会(市民企画第 1 弾)（収支△177,830 円・チケット 210 枚）
- ・共催 柳家花緑、台所おさん二人会（チケット 246 枚）

イ 普及育成事業

- ・市民ミーティング 事業の企画立案等
- ・市民サポーター研修・事業従事等(フロント接遇・アナウンス・舞台技術)

ウ 創造発信事業 事業なし

エ 交流事業

- ・ありがとう琴奨菊展
- ・suito ART STREET

オ その他

- ・開会式典アトラクション・北山たけしコンサート

(2) 令和3年度

【財政状況】

令和3年度の決算は下表のとおりである。

《収入の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 補助金	35,156,000	30,000,000	5,156,000
2. チケット収入	2,463,337	28,805,000	△26,341,663
3. 講座受講料	88,000	4,215,000	△4,127,000
4. 販売手数料	275,891	20,000	255,891
5. 繰越金	12,572,731	12,572,731	0
6. 雑収入	167	1,269	△1,102
合計	50,556,126	75,614,000	△25,057,874

《支出の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 報酬	0	3,986,000	3,986,000
2. 賃金	0	1,287,000	1,287,000
3. 報償費	373,703	850,000	476,297
4. 旅費	162,860	3,208,000	3,045,140
5. 消耗品費	457,317	2,119,000	1,661,683
6. 印刷製本費	1,808,030	5,558,000	3,749,970
7. 食糧費	36,574	668,000	631,426
8. 役務費	1,313,561	1,399,000	85,439
9. 手数料	69,539	2,474,000	2,404,461
10. 委託料	8,242,410	32,042,000	23,799,590
11. 使用料	364,756	2,860,000	2,495,244
12. 操出金	0	12,000,000	12,000,000
13. 予備費	0	7,163,000	7,163,000
合計	12,828,750	75,614,000	62,785,250

《収支対照表》

(単位：円)

収入合計	支出合計	差引金額	備考
50,556,126	12,828,750	37,727,376	令和 4 年度へ繰越

令和 3 年度の収入の主なものは自主事業補助金、繰越金及びチケット収入であり、支出の主なものは公演料等の委託料、ポスター、チラシ等の印刷製本費及び新聞広告等の役務費である。収入決算額合計は 50,556,126 円で支出決算額合計は 12,828,750 円のため、収支差引額は 37,727,376 円となり、令和 4 年度へ繰越されている。

【事業実績】

ア 鑑賞事業

(7) 音楽

- ・主催 スガダイロージャズピアノ (収支△797,438 円・チケット 206 枚)
- ・主催 高橋竹童津軽三味線演奏会 (収支△829,184 円・チケット 145 枚)
- ・主催 コスモス弦楽四重奏 (収支△1,560,522 円・チケット 152 枚)
- ・主催 田口悌治柳川観光大使就任記念コンサート (収支 4,340 円・チケット 265 枚)
- ・主催 フィルハーモニア・ブラスクインテット演奏会 (収支△2,117,024 円・チケット 164 枚)

(4) 演劇等

- ・共催 君子無朋 (チケット 774 枚)

(7) 古典芸能

- ・共催 柳家花緑台所おさん親子会 (チケット 303 枚)
- ・共催 前進座歌舞伎牛若丸 (チケット 471 枚)

(エ) 文学・芸能

- ・共催 古舘伊知郎トーキングブルース (チケット 460 枚)
- ・共催 わくわくお笑い劇場 (チケット 606 枚)

(オ) ロビーコンサート (5 回)

- ・バンド・声楽・ジャズ・ピアノ・篠笛

(カ) アート (鑑賞)

- ・北原悌二郎展 大橋圭介氏ギャラリートーク
- ・掘割広場展示 山本隆明 WAVE
- ・suito ART STREET ワークショップ等
- ・光行洋子展

イ 普及育成事業

(7) 活動者の発掘・育成

- ・フィルハーモニア・ブラス・クインテット・クリニック (講座)

(4) 幼少期・小学生の文化芸術体験の場の創出

- ・リトミックひろば 4 回
- ・モモグリ玉飾りつけワークショップ
- ・チェーンソー木彫刻実演 (見学)
- ・有明海泥染めワークショップ

- ・アート体験／蜜蝋キャンドル・スプーンづくり
- (ウ) 企画立案の担い手の発掘・育成
 - ・市民ミーティング、受託研究、開催支援。アートコーディネーター
- (エ) 市民サポーター育成(研修)
 - ・suito サポーター接遇、研修
- ウ 交流事業
 - ・こだわりのドリンクを販売してみませんか(募集のみ)
- エ 創造発信事業 事業なし
- オ 広報
 - ・季刊誌 2 回発行、市報に特設ページ、ホームページや SNS では随時情報発信、イベントポスターやチラシを DM 希望者や公共施設へ郵送等

(3) 令和 4 年度

【財政状況】

令和 4 年度の決算は下表のとおりである。

《収入の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 補助金	10,000,000	10,000,000	0
2. チケット収入	10,968,229	24,383,000	△13,414,771
3. 講座受講料	188,500	513,000	△324,500
4. 販売手数料	411,548	124,000	287,548
5. 繰越金	37,727,376	37,000,000	727,376
6. 雑収入	248	200,000	△199,752
合計	59,295,901	72,220,000	△12,924,099

《支出の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 賃金	0	1,108,000	1,108,000
2. 報償費	1,951,320	1,982,000	30,680
3. 旅費	375,754	3,984,000	3,608,246
4. 消耗品費	318,032	1,008,000	689,968
5. 印刷製本費	458,379	4,234,000	3,775,621
6. 食糧費	156,321	368,000	211,679
7. 役務費	1,987,601	2,516,000	528,399
8. 手数料	58,094	1,100,000	1,041,906
9. 委託料	27,166,024	30,981,000	3,814,976
10. 使用料	924,192	1,150,000	225,808
11. 繰出金	0	15,000,000	15,000,000
12. 予備費	0	8,789,000	8,789,000
合計	33,395,717	72,220,000	38,824,283

《収支対照表》

(単位：円)

収入合計	支出合計	差引金額	備考
59,295,901	33,395,717	25,900,184	令和 5 年度へ繰越

令和 4 年度の収入の主なものは繰越金、チケット収入及び自主事業補助金であり、支出の主なものは公演料等の委託料、新聞広告等の役務費及び出演者謝礼等の報償費である。収入決算額合計は 59,295,901 円で支出決算額合計は 33,395,717 円のため、収支差引額は 25,900,184 円となり、令和 5 年度へ繰越されている。

【事業実績】

ア 鑑賞事業

(7) 音楽

- ・主催 イグナツ・リシェッキピアノリサイタル (収支 255,497 円・チケット 346 枚)
- ・主催 東京混声合唱団 (収支△5,153,531 円・チケット 363 枚)
- ・主催 近藤和花ピアノリサイタル (無料・整理券 152 枚)
- ・主催 池田直樹リクエストコンサート (収支△1,128,153 円・チケット 87 枚)
- ・主催 北原白秋没後 80 年由紀さおり童謡コンサート (収支△2,857,349 円・チケット 625

枚)

- ・共催 TSUKEMEN コンサート (チケット 545 枚)
- ・共催 宮田大チェロ (チケット 715 枚)

(4) 演劇・舞踏

- ・主催 山海塾公演 (収支△5,706,155 円・チケット 184 枚)
- ・共催 池田商会「稲妻」(チケット 193 枚)
- ・共催 サラリーマンナイトフィーバー (チケット 560 枚)
- ・共催 青年劇場「あの夏の絵」(チケット 250 枚)

(5) メディア芸術

- ・主催 suite de シネマ 山田洋次監督特集 (チケット 138 枚)
- ・共催 suite de シネマ 映画「柳川」(チケット 498 枚)

(6) 古典芸能

- ・共催 柳家花緑・台所おさん (チケット 256 枚)

(7) 芸能

- ・主催 ORANGE RANGE ライブ (収支△28,705 円・チケット 755 枚)
- ・共催 岡幸二郎プレミアムライブ (チケット 512 枚)

(8) 子ども向け鑑賞事業

- ・主催 市民企画 こっぽり〜の音楽会 (収支△114,352 円・チケット 209 枚)
- ・主催 たかはしべんコンサート (収支△204,956 円・チケット 75 枚)
- ・主催 サンドアート&ミュージック (収支△523,339 円・チケット 113 枚)
- ・主催 宮田大チェロ親子コンサート (無料・整理券 87 枚)
- ・主催 劇団四季「人間になりたがった猫」(収支△945,274 円・チケット 726 枚)

(キ) ロビーコンサート 11 回

- ・ ヴァイオリン、ピアノ、ギターアンサンブル、フルート、シャンソン、ジャズ等

(ク) 展示鑑賞事業

- ・ LOVE&PEACE 展
- ・ suite ART STREET
- ・ 北原白秋没後 80 年

(白秋オマージュ巡回展、白秋の挿絵と切り絵展、北原白秋と若山牧水のこころ展)

イ 普及育成事業

(7) 活動者の発掘・育成 事業なし

(イ) 幼少期・小学生の文化芸術体験の場の創出

- ・ リトミックひろば 11 回
- ・ ミュージカル体験講座 6 回
- ・ 市民企画 チョークアート
- ・ 学生向け短歌ワークショップ
- ・ 学生向け楽器体験ワークショップ 6 回

(ウ) 企画立案の担い手の発掘・育成

- ・ YANAGEI WORKSHOP

(エ) 市民サポーター育成(研修)

- ・ suite サポーター
フロント接遇、アナウンスともに事業に従事
- ・ suite サポーター研修
フロントサポーター研修(新規サポーター2 回、現サポーター2 回)

(オ) 市民企画の実施

- ・ チョークアート
- ・ SDGS クイズラリー
- ・ 多様性・世界を知る(モンゴル馬頭琴コンサート、写真展、家、マルシェ)

ウ 交流事業

- ・ 世界のご飯マルシェ
- ・ SDGS クイズラリー
- ・ モンゴル馬頭琴コンサート、ゲル体験、マルシェ
- ・ suite ART マルシェ

エ 創造発信事業 事業なし

オ 広報

- ・ 市報に特設ページ、HP や SNS で随時情報発信、イベントポスターやチラシを DM 希者や公共施設へ郵送等

(4) 令和 5 年度

【財政状況】

令和 5 年度の決算は下表のとおりである。

《収入の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 補助金	11,628,424	12,000,000	△371,576
2. チケット収入	21,476,366	20,720,000	756,366
3. 講座受講料	67,000	405,000	△338,000
4. 販売手数料	148,750	198,000	△49,250
5. 繰越金	25,900,184	25,900,000	184
6. 雑収入	213	50,000	△49,787
合計	59,220,937	59,273,000	△52,063

《支出の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 賃金	0	1,000	1,000
2. 報償費	1,066,400	2,352,000	1,285,600
3. 旅費	487,238	531,000	43,762
4. 消耗品費	112,901	476,000	363,099
5. 印刷製本費	469,057	1,410,000	940,943
6. 食糧費	223,406	350,000	126,594
7. 役務費	3,464,196	5,500,000	2,035,804
8. 手数料	552,900	830,000	277,100
9. 委託料	31,881,894	30,674,000	△1,207,894
10. 使用料	297,304	900,000	602,696
11. 負担金	24,000	24,000	0
12. 繰出金	0	12,000,000	12,000,000
13. 予備費	0	4,225,000	4,225,000
合計	38,579,296	59,273,000	20,693,704

《収支対照表》

(単位：円)

収入合計	支出合計	差引金額	備考
59,220,937	38,579,296	20,641,641	令和 6 年度へ繰越

令和 5 年度の収入の主なものは繰越金、チケット収入及び自主事業補助金であり、支出の主なものは公演料等の委託料、新聞広告等の役務費及び出演者謝礼等の報償費である。収入決算額合計は 59,220,937 円で支出決算額合計は 38,579,296 円のため、収支差引額は 20,641,641 円となり令和 6 年度へ繰越されている。

【事業実績】

ア 鑑賞事業

(ア) 音楽

- ・主催 水都やながわ五ツ星コンサート（収支△996,622 円・チケット 364 枚）
- ・主催 木越洋&畑瀬由美子 DUO コンサート（収支△99,090 円・チケット 152 枚）
- ・主催 横山幸雄ピアノリサイタル（収支△1,138,700 円・チケット 488 枚）
- ・主催 森麻季&錦織健デュオリサイタル（収支△2,672,095 円・チケット 389 枚）

(イ) 演劇

- ・主催 「沼の中の淑女たち」（収支 287,217 円・チケット 429 枚）
- ・主催 ミュージカル「クリスマス・キャロル」（収支△4,214,260 円・チケット 720 枚）

枚)

(ウ) メディア芸術

- ・共催 「こんにちは、母さん」先行上映会 山田洋次監督招聘（チケット 784 枚）

(エ) 古典芸能

- ・主催 神田伯山独演会（収支 553,706 円・チケット 787 枚）
- ・主催 三遊亭園歌独演会（収支 32,287 円・チケット 352 枚）
- ・主催 夏井いつき句会ライブ（収支△1,098,925 円・チケット 355 枚）
- ・共催 柳家花緑・台所おさん親子会（チケット 288 枚）

(オ) 芸能

- ・主催 今陽子コンサート（収支△614,260 円・チケット 447 枚）
- ・主催 DRUM TAO 公演（収支 200,439 円・チケット 737 枚）

(カ) 子ども

- ・主催 子どものためのコンサート 4 回（歌・クラシック・ジャズ・読み語り）
（収支△1,205,840 円・チケット 588 枚）

(キ) ロビーコンサート 12 回

- ・ピアノ・マリンバ、ギター・ボーカル、篠笛・フルート、ピアノデュオ、声楽、ミュージカル、ジャズトリオバンド、サックス・フルート、琴、クラリネット等

(ク) 展示鑑賞事業

- ・LOVE&PEACE 展
- ・suito ART STREET Vol.4

イ 普及育成事業

(ア) 活動者の発掘・育成

- ・クリスマス・キャロルミュージカル 1 日体験講座
- ・「泥の中の淑女たち」演劇ワークショップ

(イ) 幼少期・小学生の文化芸術体験の場の創出

- ・リトミックひろば 9 回
- ・虹を集める(虹の観察ワークショップ) 6 回
- ・光ノ鳥を描くワークショップ 5 回

(ウ) 企画立案の担い手の発掘・育成

- ・市民ミーティング 未実施

- ・アートコーディネーター 委託事業
- ・まちづくりアートディレクター 地域おこし協力隊募集
- (エ) 市民サポーター育成(研修)
 - ・suito サポーター
 - フロント接遇、アナウンスともに主催事業に従事、市民記者が SNS で情報を発信
 - ・suito サポーター研修
 - アナウンスサポーター研修 5 回
 - フロント接遇サポーター研修 1 回
- (オ) 市民企画の実施 事業なし
- ウ 交流事業
 - ・suito 鉄道広場
- エ 創造発信事業 事業なし
- オ 広報
 - ・市広報に特設ページ、水都やながわ専用 HP・SNS で随時情報発信、イベントポスターやチラシを公共施設等へ郵送

(5) 令和 6 年度

【財政状況】

令和 6 年度の決算は下表のとおりである。

《収入の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 繰越金	20,641,641	0	20,641,641
2. 補助金	10,000,000	10,000,000	0
3. チケット収入	11,473,553	9,949,000	1,524,553
4. 講座受講料	326,000	300,000	26,000
5. 販売手数料	303,630	447,000	△143,370
6. 雑収入	26,421	1,000	25,421
合計	42,771,245	20,697,000	22,074,245

《支出の部》

(単位：円)

項目	決算額	予算額	比較増減
1. 賃金	0	0	0
2. 報償費	1,245,000	1,195,000	△50,000
3. 旅費	214,912	167,000	△47,912
4. 消耗品費	254,414	225,000	△29,414
5. 印刷製本費	360,350	276,000	△84,350
6. 食糧費	69,198	47,000	△22,198
7. 役務費	2,733,108	1,232,000	△1,501,108
8. 手数料	37,175	11,000	△26,175
9. 委託料	14,489,177	14,090,000	△399,177

10. 使用料	513,313	531,000	17,687
11. 負担金	0	0	0
12. 精算金	20,641,641	0	△20,641,641
13. 予備費	0	2,660,000	2,660,000
14. 公課費	260,300	263,000	2,700
合計	40,818,588	20,697,000	△20,121,588

《収支対照表》

(単位：円)

収入合計	支出合計	差引金額	備考
42,771,245	40,818,588	1,952,657	令和 7 年度へ繰越

令和 6 年度の収入の主なものは繰越金、チケット収入及び自主事業補助金であり、支出の主なものは精算金、公演料等の委託料、新聞広告等の役務費及び出演者謝礼等の報償費である。収入決算額合計は 42,771,245 円で支出決算額合計は 40,818,588 円のため、収支差引額は 1,952,657 円となり令和 7 年度へ繰越されている。

なお、令和 5 年度の繰越金 20,641,641 円については、令和 2 年度から令和 5 年度までの自主事業補助金精算金として、令和 7 年 6 月 4 日に市へ返還されている。

【事業実績】

ア 鑑賞事業

(ア) 音楽

- ・主催 上妻宏光 宮田大 Duo Concert Tour～月食～
- ・主催 水都やながわ五ツ星コンサート
- ・共催 TSUKEMEN スペシャルコンサート
- ・共催 柳河を柳川で歌う会
- ・共催 清塚信也・吉田翔平アコースティック・デュオコンサート
- ・共催 金見美佳コンサート

(イ) 演劇 事業なし

(ウ) メディア芸術

- ・主催 能登半島地震輪島支援特別上映「幻の光」

(エ) 古典芸能

- ・主催 春風亭一之輔と華の仲間たち
- ・共催 琵琶語り劇
- ・共催 柳家花緑・台所おさん親子会 2025

(オ) 芸能

- ・主催 北島兄弟コンサート
- ・主催 ビューティこくぶ&よよちゃん歌まねジョイントライブ

(カ)子ども

- ・主催 こどもオペラ「ブレーメンの音楽隊」
- ・共催 ピアニストだいちお兄さんといっしょ
- ・共催 0歳からの音遊び 和楽器で音脳リトミック&コンサート

(キ)ロビーコンサート 14回

- ・ギター・ピアノ・ボーカル、わらべ歌、バイオリン・ピアノ、ギター・ボーカル、サックス、ピアノ・ボーカル、ギター、ピアノ、ピアノ・ベース・ボーカル、10弦ギター・フルート・オカリナ、クラリネット・ピアノ、ギター・ボーカル・アンデス楽器等

(ク)ロビーパフォーマンス

- ・朗読劇「老人と海」

(ケ)展示鑑賞事業

- ・LOVE&PEACE 展
- ・suito ART STREET Vol.5

イ 普及育成事業

(ア)活動者の発掘・育成

- ・伝える・伝わる話し方講座 10回
- ・楽器体験ワークショップ

(イ)幼少期・小学生の文化芸術体験の場の創出

- ・リトミックひろば 12回
- ・0歳からの音遊び 和楽器で音脳リトミック&コンサート
- ・市民文化会館バックヤードツアー

(ウ)企画立案の担い手の発掘・育成

- ・市民ミーティング 3回
- ・アートコーディネーター 委託事業
LOVE&PEACE 展、suito ART STREET Vol.5
- ・まちづくりアートディレクター
地域おこし協力隊 自主事業企画立案(柳川らしいアート視点で文化芸術の発掘)

(エ)市民サポーター育成(研修)

- ・suito サポーター
フロント接遇、アナウンスともに主催事業に従事、市民記者が SNS で情報を発信
- ・suito サポーター研修
アナウンススキルアップ講座 5回
フロント接遇サポーター講座 1回

ウ 交流事業 事業なし

エ 創造発信事業 事業なし

オ 広報

- ・季刊誌 1回、市広報に特設ページ、水都やながわ専用 HP・SNS で随時情報発信、イベントポスターやチラシを公共施設等へ郵送

第6 監査の結果

監査の結果、次のとおり是正を要する事項が認められたので、必要な措置を講ずると

ともに、職員の指導監督に努められたい。

また、事務処理上留意すべき軽微な事項については、監査委員による事情徴取の際に、口頭により注意、改善を促したので、記述を省略する。

なお、指摘事項に係る措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

＝実行委員会＝

【指摘事項】

(予算管理事務)

ア 令和 6 年度の決算について、予算流用の事務処理を行っていないため、支出決算額が予算額を上回っている支出項目がある。

(収入事務)

ア 各年度、調定決議書兼収入伝票を起票せず収入しているものがある。

(支出事務)

ア 令和 2 年度から令和 5 年度までの文化会館開館記念事業の自主事業補助金精算金について、市への返還が令和 7 年 6 月 4 日と著しく遅れている。

イ 令和 3 年度以降、支払いの証となる領収書が支出伺兼支出伝票に添付されていないものがある。

ウ 令和 6 年度五つ星コンサートプレトーク謝金について、支出伺兼支出伝票の金額が支出額と相違している。

エ 令和 2 年度、令和 4 年度及び令和 6 年度に、支出伺兼支出伝票を起票せず支出しているものがある。

(補助金交付事務)

ア 下記年度の補助金交付申請書について、補助事業の実施前に申請されていない。

- ・令和 4 年度 申請日 令和 5 年 2 月 28 日
- ・令和 5 年度 申請日 令和 6 年 2 月 22 日

イ 令和 6 年度補助金実績報告書を市へ提出されていない。

【注意事項】

ア 下記年度の補助事業実績報告書を速やかに市へ提出されていない。

- ・令和 3 年度 提出日 令和 5 年 2 月 28 日
- ・令和 4 年度 提出日 令和 6 年 2 月 22 日
- ・令和 5 年度 提出日 令和 7 年 3 月 11 日

イ 下記の事業計画や事業報告、予算や決算の審議が適正な時期に行われていない。

- ・令和 3 年度、令和 4 年度及び令和 5 年度の事業報告及び決算
- ・令和 5 年度の事業計画及び予算並びに令和 6 年度予算

ウ テナント使用料の規定はないが、令和 4 年度マルシェテナント料 4,000 円を実行委員会で収入している。

エ 令和 6 年度音楽協会チェロ終了コンサートチケット預かり手数料の調定決議書兼収入伝票に添付している領収書(控)の宛名が誤っている。

オ 令和 6 年度渡部ヴァイオリン教室チケット預かり手数料の調定決議書兼収入伝票に、日付の記入がない領収書の原本が添付されている。

カ 令和 6 年度こどもオペラプレーメンの音楽隊委託契約について、契約書に日付が記入されていない。

＝市生涯学習課＝

【指摘事項】

(補助金交付事務)

ア 令和 6 年度補助金実績報告書が提出されておらず、実績調査及び審査、補助金額の確定が行われていない。

イ 実行委員会の支出伺兼支出伝票に領収書が添付されていないものがあり、実績調査及び審査で確認していない。

【注意事項】

ア 令和 2 年度及び令和 3 年度の補助金交付決定文書を適切に保管されていない。

【要望・意見】

柳川市民文化会館は、新たな柳川の文化芸術の拠点として、令和 2 年 12 月 20 日に開館するとともに、柳川市民文化会館自主事業実行委員会は、柳川市民文化会館運営計画の推進を図るため、令和 2 年 7 月 30 日に設置されている。

市は実行委員会に対し、地域の文化レベルの向上を図るため、開館した令和 2 年度から事業費補助金を交付しており、安定的な財源が確保されることで、自主事業が継続的に実施されている。しかし、開館当初から約 2 年間はコロナ禍の影響で思うような事業展開ができなかったものの、令和 4 年度後期からは、文化芸術鑑賞の機会や質の高い公演誘致等が増え、その他、地域に根ざした企画立案に取り組むことで、市民生活に潤いをもたらしている。

このことは、補助金や自主事業の一定の成果であるが、一部、集客が伸び悩んでいる事

業や補助金への依存度が高い事業も見受けられる。自主事業は民間興行とは異なり、利益だけでは測れない多面的な公益的役割を担っており、難しい課題ではあるが、再度、補助金活用事業や集客率及び収益率のバランスを十分考慮したうえで、自主事業の企画や選定に尽力されたい。

補助金交付事務については、柳川市補助金等交付規則に基づいて交付しているが、補助金の根拠をより明確にするためにも、補助の目的、対象経費、算定方法等を規定した補助金交付要綱等の制定が必要であるため検討されたい。

補助金交付関係文書については、処理経過を明らかにし、正確、丁寧に取り扱わなければならないが、一部、粗雑に扱われている事績が見受けられた。文書については、文書管理規定に従って、適切に管理されたい。

市が交付した補助金については、返還金が生じた場合、各年度で市へ返還すべきであるが、自主事業補助金については、コロナ禍により事業が十分に実施できなかった影響もあり、令和2年度から令和5年度までを開館記念事業と位置付け、年度ごとの補助金精算が行われておらず、令和5年度末の事業完了後に精算を行っている。返還金は20,641,641円であるが、市への返還については、令和7年6月4日と著しく遅れているため、市及び実行委員会においては、事務処理が遅滞した要因を明確にし、今後、適正な補助金申請及び交付事務が執行できるよう取り組まれない。

令和4年度に実行委員会が自主事業のマルシェテナント料として4,000円収入しているが、本来、施設の使用料として市が収入すべきものであり、柳川市民文化会館条例又は柳川市行政財産使用料条例で明確な使用料を規定されたい。

実行委員会の会計事務については、事務決裁や財務事務に関する基準等が規定されておらず、市の規定に準ずる運用を行っているが、市職員が事務局職員としてこれらの事務全般に従事していることから、実行委員会で規程等を制定し、責任の所在を明確にしたうえで、適切な会計処理に努められたい。

実行委員会の開催については、令和4年度以降、年1回に留まっているため、事業計画や事業報告、予算や決算の審議が適正な時期にかけられていない案件が見受けられた。また、組織状況については、令和6年度以降、副会長が不在となっている。更に、実行委員会に事業の企画を提案する市民ミーティングにおいては、令和7年度以降、メンバー募集を実施していない。その様な状況では、実行委員会としての機能を十分果たしているとは言えず、行政主導で事業が展開されていると言わざるを得ない。今後、これらの課題を精査し、行政と実行委員会の両輪で魅力ある事業展開が図られよう、実行委員会のあり方を再考する必要があると思える。

最後に、文化芸術の振興は、ゆとりと潤いが実感できる心豊かな生活を実現していくうえで必要不可欠なものであり、自主事業はその中枢を担っている。そのため、実行委員会が果たす役割は大きい、今後も柳川の新たな文化芸術の魅力を創造し、文化力を生かしたまちづくりを牽引する団体として、誇りをもって全力を傾注し取り組まれることを切望するものである。